



るうてる



2018年
3月
No.843

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>
■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp
■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社
■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)
■振替口座 ■ 00190-7-1734

説教「エロイ エロイ レマ サバクタニ」

日本福音ルーテル三原教会、福山教会 牧師 谷川卓三

昼の十二時になると、全地は暗くなり、それが三時まで続いた。三時にイエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である

(マルコによる福音書15・33~34)

エロイ、エロイ、レマ、サバクタニこの印象的な最後の言葉がなぜ原語で採録されたのか。それは、マルコが「これが福音の神髄である」と確信したからである。

今年マルコ福音の年。マルコ典礼を奉ずるコプト教会が昨年日本に初めての礼拝堂を開いた。その時の記念礼拝がコプト教会の教皇を迎えて開催された。2時間に及ぶ礼拝は鐘太鼓も含め終始喜びの調べにあふれていた。

コプト教会は1世紀以来、エジプトでマルコの伝統を伝えている。そのマルコの福音書の1章1節に「神の子の福音の初め」

とあり、そして最後の15章39節「百人隊長がイエスの方に向けて、そばに立っていた。そして、イエスがこのように息を引き取られたのを見て、『本当に、この人は神の子だった』と言った」とあり、神の子の福音が語られている。「神の子」の福音である。

コプト教会が今なお多くの殉教者を出しながら、喜びをもって耐え忍んでいるのは、彼らが人間的イエスではなく神の子としてのイエスを信じているからだと思う。しかし、そのマルコが福音書の中では「人の子」イエスを描いているのだ。その子

イエスが「神の子」として奉じられる。これが私たちの主イエス・キリストである。「人の子」として罪びとの仲間になられた。だが「罪びとの仲間」はまだ罪びと自身ではない。だが、十字架のあの叫びは、神の子が罪びとの一人に数えられた瞬間であった。神に捨てられ独りにされること、神の子における罪びとの標識である。この時のためにイエスの生涯は導かれた。そしてそれが神のご計画であった。神なき世にあつて苦しむ人々との一致がこの瞬間に成った。神の子が私のために、もはや正しい事を言われず、ただ、同じ罪人となられた!

罪人となられた!

人と共に生きる地平が開かれた。神の子が罪びととされた絶望のこの叫びによって、教会は仮現説から決別し、真の神の子の告白を選び取った。この世の一致とは罪びとの一致であることがわかった。

民族、宗教、人種、階級、能力、気質などの異なりを超えて人々を一致へと導く可能性は、それぞれ痛みや苦しみを寄せ合う交わりと連帯にあるのではないか。この点を出発点として全ての人が一致出来る。そしてその一致は神ご自身がその真ん中に立たれる一致である。そのことがイエスの十字架のあの叫びで成就したと、マルコはそう思った。あの叫びを、原語を残しつつ、福音の終わりとして、ローマの百人隊長をして「この人こそ神の子だった」と言わしめ、異邦人を含め全ての神の民を神の子とする福音を語り終えた。

神が私たちのために罪びととなられたことによつて神の墮落論のロツクが解除され始動する! 絶望は悪魔の分断のしるしから神の恵みのしるしへと変えられた。神の子であるイエスにおいて、義人の矜持という自分をガードする何もかもなくなり、神の恵みが自由に出入りできるようになった。神の子の絶望によつて! 神の子が罪びととなることによつて! 罪びとは神的普遍性を獲得した。恵みによつてのみ生かされる普遍性である!

その十字架の叫びから、全ての人間の苦しみを担い支える恵みが磁力線として発せられる。ヒロシマ・ナガサキ・アウシュビッツを経験した人類は、個人の罪に限定された十字架の神学の地平を、苦しむ人々全てと連帯することへと全面的に突破しなければならぬ。それは苦しむ一人ひとりが、自ら罪びととなって私たちをご自身へと結びつけてくださる方により、蘇る恵みに迎えられるからだ。

ボンヘッファーは「深いこの世性」と言った。それは「この世の一致」である。これには「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ」が絶えず共振している。これによつて、垂れ幕が裂け、二つの分裂したものが一つにされた。神と

神が私たちのために罪



②4【MacGuffin】



地方にはライオンなんていないぞ。すると相手は、「ほら、マクガフィンに役は立っているだろ」『定本映画術』晶文社。

映画監督のアルフレッド・ヒッチコックは、自分の映画について語るとき「マクガフィン」という言葉を使うことがあります。そのヒッチコックがフランスワ・トリュフォーによるインタビューの中で、「マクガフィン」とはスパイ映画などで敵味方が奪い合う「碧の地図」や「密書」のようなもので、それ以上の意味はないと答えた後、こんな小咄を紹介しています。『ふたりの男が汽車の中で会話を交わした。「柵」上の荷物は何だね」とひとりがきくと、もうひとりが答えるには、「ああ、あれは、マクガフィンさ。」「マクガフィンだつて? そりゃなんだね。」「高地地方(ハイランド)でライオンを捕まえる道具だよ。」「ライオンだつて? 高地

この小咄が面白いのは、「ライオンが存在しない」という事実を美体の伴わない「マクガフィン」なるもののせいにしてのことですが、この小咄は、私たちに大切なことを思い出させてくれます。それは、私たちの居場所を「ライオンのいない」場所、「ライオンのいない」場所、それは、ライオンに襲われるかという不安に怯えなくてもいい場所...にしているために、「マクガフィン」なるものが必要だということ。それは、直接目に見える高性能な武器(銃器やミサイル)のようなものではなく、パウロの言う「霊の結ぶ実」のようなものであり、「愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制」(ローマ5・22)のことなのだと思えます。(ア) 岩切雄太 (西司教会 八幡教会 佐賀教会 小城教会牧師)

【募集】

「わたしたちと宗教改革500年」



教会や施設・学校、そして家庭などにおいて、宗教改革や500年を意識した礼拝や伝道、教育、奉仕が行われ、祈りが生み出されたことと思います。また継続されている取り組みもあること

でしょう。行事の報告や生み出された交わりや作品などをぜひ写真と共にお分かちください。本紙において、紹介していきたいと思ひます。宗教改革500年を新たな始まりとしていくための企画です。事務局宛にメールもしくは郵便でお送りください。メールアドレス jelc@jelc.or.jp (広報室長 安井宣生)



議長室から

「自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」(マタイ16・24)と言われました。誰にでも、他者とは異なる自分自身の十字架があるのです。これも十字架の大切な意味です。

新約聖書では、十字架は別の言葉で表現される。架はまるでアケセサリーのよう、よりどりみどりで、自分で好きなものだけを選び取る事ができるように聞こえるかもしれない。しかしそうではありません。どの十字架も欠けてはならない重要な価値を持つていからです。

それぞれの十字架を

総会議長 立山忠浩

十字架を覚える季節になりました。諸教会の十字架の形が様々であるように、その意味もひとつではありません。もっとも重要なものは主イエスが負ってくださった十字架です。ご自身のためではなく、私たちの罪や弱さなどを背負ってくださった贖罪の十字架です。

「めいめいが、自分の重荷を担うべきです」(ガラテヤ6・5)と記しています。重荷という言葉です。さらに「互いに重荷を担いなさい」(同6・2)と命じます。

私たちは時として、それらのひとつだけを選び取り、その意義だけを強調し、他のことが疎かになっ

ちな課題です。自分の十字架を他者やある出来事から突き付けられ、深い気づきを与えられることもあるでしょう。心碎かれるときであり、恵みの体験です。でもそれで終わるのであれば悲しいのです。そこから隣人や社

会、自然界の十字架を少しでも担うことへと向かうことが期待されているのです。それとは逆に、自分以外の他の十字架の存在を人々に知らせ、それを担うように啓蒙することに尽力することもあるでしょう。重要な働きです。しかし自分自身の十字架を見つめ、受け止めることが疎かになるならば、それも悲しいのです。

カトリックと 宗教改革500年⑤

1. 近代の幕開け

中世末期、教会は分裂(1378〜1417)し、その権威は失墜してしま

2. ルターの問題提起

1517年、マルティン・ルターが『九十五条の論題』において、ドイツにおける免償状販売

第62条「教会の真の宝は、神の栄光であり、恵みである最も聖なる福音である」

増してしまいました。免償状のローマ教会のあり方への討論を呼びかけたことから、ドイツの宗教改革が始まりました。彼の主張の根本は、人が救われるのは、免償状を買うことによつてではなく、「信仰による」(信仰義認)ことでした。



今年度の活動報告

プロジェクト3・11企画委員 小泉 嗣

忘れられない一日がある。忘れてはならない一日がある。しかしその一日は過ぎた一日であり、そこから更に新しい一日を積み重ね、私たちは今を生きている。

2011年3月11日、あれから私たちは2500日ほど一日を積み重ね

た。被災地に生きる人その地を離れ新しい土地に生きる人、被災地を訪れた人、今なお訪ね続ける人、それぞれの積み重ねた一日がある。ある人は悲しみが増し、ある人は苦しみや痛みが増し、ある人は自らを悔い、ある人は悩みを深める…。希望を見いだした一日、不安が増した一日、笑った一日、泣いた一日、悩んだ一日、みんな色んな一日を積み重ねてきた。

プロジェクト3・11はルーテル教会救援(JLER)の活動終了に伴い始められた東教区の被災地支援活動である。といっ

でも具体的な大きな活動をするには出来ず、募金を呼びかけることと、東日本大震災によって出会った人々、あの時同じ一日を過ごした人々ともつ機会を一年に一度もつことを目指して活動を続けている。それは被災地に生きる人々の一日と、被災地を思う人々の一日をつなぎ合わせる活動であるともいえる。

本年も全国の個人、教区、集会所から59万6543円の献金が届けられ、教区の支援金と合わせ、いわき放射能市民測定室「たちね」、いわき食品放射能計測所「いのり」、キッズケアパークふくしま、北海道寺小屋合宿(原子力行政を問い直す宗教者の会)、松本こども留学、福島移住女性支援ネットワークの6か所を支援させていただいた。感謝と共に



報告させていただく。また東教区では今年も3月11日に「東日本大震災を憶える礼拝」を持つ。一日を積み重ねることが叶わなかった人々を憶え、今なお厳しい一日を積み重ねる人々を想い、私たちが積み重ねてきた一日を思う。祈りをあわせる一日としたい。

JELA アメリカ・ワークキャンプ2018 参加者募集

1977年にアメリカのキリスト教青年書専門出版社である「グループ」社がはじめたボランティアキャンプに、2001年より日本から毎年青少年を派遣しています。キャンプでは全米から集まる200〜400人の青少年と共に、高齢者、障害者や低所得者などが自力では難しい家の修繕を支援しながら、クリスチャン向きのプログラムを提供します。ノンクリスチャンの方でも参加できます。

- 日程：2018年7月25日(水)〜8月7日(火)14日間
- 対象：2018年8月1日現在で14歳〜20歳の方
- 募集人数：5〜10名前後(人数調整のため、選考があります)
- 内容：ペンシルベニア州で1週間のワークキャンプ(家屋修繕、聖書の学び等を通して参加者の信仰的・人間的成長を促す)に参加し、近隣の州でホームステイもします。
- 参加費用：20万円
*割引制度あり。海外旅行保険、パスポート・ビザ取得費用、派遣決定者向け説明会会場や出発・帰国時の集合場所(成田空港)から本人の居住地までの交通費及び前泊・後泊する場合の宿泊費は、上記の参加費とは別に個人負担となります。
- 申込方法：所定の申込書に必要事項を記入の上、JELA アメリカ・ワークキャンプ係まで、メール jela@jela.or.jp または FAX 03-3447-1523 にてお送りください。
- 締切：2018年4月30日(月)必着(選考を行い5月上旬までに参加の可否をお知らせします)

退職にあたって

青田 勇



197

5年より
聖ペテロ
教会、そ

の後、二日市教会、大江教会
で、計17年、九州教区での働
きを与えられました。その
後、広報室長の任を受け、事
務局長に選ばれ、7年間全
体教会の職務を担わせて
いただきました。その後、再
度教会の現場に戻り、稔台
教会、静岡教会を歴任させ
て頂き、また2008年か
らは副議長及び宣教室長
次いで管財室長、そして2
015年からは管財室長・
参与との兼務で東京池袋

教会の牧師とさせていた
だきました。

今から52年前のクリス
マスに湯河原教会で洗礼
を受けましたが、その礼拝
後、教会の中の存在の女
性に語られた言葉を今で
も忘れません。「青田君、今
からはこの教会はあなた
のものでしょ」という言葉
です。それから9年後、九
州の教会の牧師として赴
任していった時に、その言
葉の意味がよく分かって
きました。「この教会はあ
なたのものでしょ」という
言葉は単に教会の建物、組
織を言ったものではなく、
「あなたはこの教

会の群れに招かれ、神の救
いのみ業に召されている
のだから、与えられた教会
の職務と神の宣教のみ業
を担うものとしての自覚
を持つのです」という願い
と祈りが、その言葉の中に
込められていたと思っ
ています。

今まで長い間支えてく
ださった多くの方々に関
謝いたします。

江藤直純



江藤直純

締め括
りの時が
来ました
ふさわし
くないにも拘わらず、罪の
赦しの福音に生かされ、神
様と教会の忍耐に支えら
れ、牧師として42年間ルー
テル教会の働きに加えて

ご自身が身を投じて関わ
られた宣教の現場であっ
た。それ故に「神学的自伝
である。しかしいわゆる回
顧録とは趣を異にしてい
る。本書の焦点は生ける神
の働き(恵み)に向けられ
しかもそれが世界とそこ
に生きる人々に介在する
という信仰の証言となっ
ている。それ故に未来への
励ましと提言に満ちてい
る。先生のご活躍と多方面
にわたる貢献もさること
ながら、本文から伝わる一
貫した調子は神の恵みへ
の絶対的な信頼と期待で
あり、出会った人々への温
かなまなざしであった。是
感謝!

テル教会の働きに加えて
いただき、幸いでした。健
康上の理由で一年早く退
きます。

ルーテル神大・神学校
と大学院で準備をし、19
76年春に按手。初任地は
熊本の大江教会。シカゴ留
学の後、母校での神学教育
とキリスト教に基づく他
者援助の専門職養成を任
じられました。34年間に百
人余が牧師となり今の
ルーテル教会を担ってい
ます。福祉や臨床心理を学
ぶ多くの学生・院生にも
キリスト教倫理を中心に
多くの科目を教授。12年間
は神学校長、最後の4年間
は学長。ご後援に深謝しま
す。

教会担当は大江と兼務

した三鷹だけでしたが、そ
の代わり、宣教百年記念事
業室長を4年併任、その
後、全国伝道セミナー、聖
書日課、パワーミッション
21等に関わり、また長年の
講壇奉仕で全国の信徒の
方々と親しく交われ、信仰
と教会の成長に携わられて
大きな喜びでした。信仰職
制やエキエムニズム委員
ルター研究所員を務め、宗
教改革500年を共に記
念できました。

福音はますます必要と
されます。皆様の主の祝福
と力づけを祈ります。心か
ら感謝しつつ。

齊藤忠碩



齊藤忠碩

神戶教
会のごぞみ
幼稚園で
「主の祈り」
を教えていただき、70歳に
至るまで、救い主イエス様
に恵みに次ぐ恵みをいた
だき、36年間の牧師生活を
送ることができました。皆
様のお支えと祈りに感謝
します。

こともありました。それか
ら札幌教会、次いで市ヶ谷
教会そして日吉教会とそ
れぞれに充実し、恵まれた
牧師生活を送らせていた
だきました。

この間、心に決めて取り
組んだことがあります。初
任地での最初の役員会で
のこと、代議員より「漫然
と牧師をせず、目標をしつ
かりと持ってやってくだ
さい」と言われ、「はい、分か
りました」と答えました。

それを今も思い出します。
そして「今年はおの人、こ
の人に洗礼を」、「今年ほ
んなプログラムを」と祈り
ながら牧師生活を送って
きました。

私は教会で神の愛をい
ただき、救われ、教会生活
で喜びをいただきました。
そして宣教へと押し出さ
れ、喜びの日々を過ごして
きました。もちろん家族の
支えがあつてのことです。
「敬愛人々」まさに恵み
の人生が与えられました。
感謝。

①教会は聖徒の交わり
である。聖徒の交わりとし
ての教会は主の教会とし
て永遠に続く。その教会は
主が守り導く聖徒の交わ
りである。②霊的な義務を
自覚してこそ力強いキリ
スト者となる。献身献財は
その意識化を促すために
重要である。③私は洗礼
を受けた者との誇りを持
ち、主と共に、主と一つと
なつて、主に委ねて雄々し
く歩め。④礼拝はキリスト
者にとつて地上の天国で
ある。その力によってキリ
スト者の日々の生活は確
かなものとされる。⑤牧師
はそのために奉仕する者
である。教会共同体に仕え
た歴代牧師たちの連綿と
継続された主の業を信徒
共同体として大切にす
ること。⑥牧師の不足がある
今、牧師の教会から信徒共
同体としての教会へと意
識変革の良き時が到来し
ている。聖徒の交わりとし
て共に喜び泣く者たれ。⑦
一致の主と共に、世界の民
の一致のために存在する
教会たれ。民族も宗教も人
種も貧富も相性も異なる
者が、争いではなく一致す
るために教会とキリスト
者は霊において一つと
なつてひたすら尽くせ。

でしたが、そろ
そろアメリカに
帰ります。20
16年6月、熊本に戻った時
に、初めて震災の被災地を見
ました。完全な復興はまだで
すが、あの時に比べると、皆の
努力で、大変進歩してきたので
はないかと思えます。

アメリカに帰ったら、教師
になるために就職活動をする
つもりです。日本で体験した
こと、そして日本人の友達や
生徒、同僚教会のメンバーを
絶対に忘れません。4年間、あ
りがとうございました。

スコット・カルズニー

私が日本で
生活に慣れ、神
さまが用意され
た働きをするために、お支え
くださることを感謝します。

私はキリストの福音を分かち
合い、英語を教えるために来
日しました。学生時代、聖書研
究の顧問でもあつた日本人教
授にお世話になりました。教
授は地球上のこの場所で神の
国が前進するために私の研究
を用いることを励ましてくれ
ました。私は学校での仕事に
加えて、熊本教会の仲間と夕
食会を開き、また神の愛を知
らない人との交わりを作りたい
と思つています。あなたの
人生に神の愛が豊かに示され
ることを祈ります。

訂正
本紙の18年2月号4面の「連帯献金報
告」に記載ミスがありました。関係各位にお
詫言し訂正致します。申し訳ありません。
ラザール伝道小泉章・熊本教会



ブックレビュー 『ルーテル教会の 信仰告白と公同性』 (石田順朗著/リットン)



宮本 新

(田園調布教会・
日本ルーテル神学校)

2015年11月5日、石
田順朗先生が召天された。
翌月の本紙で清重尚弘先
生による「実践する神学
者」と題された追悼文を拜
読した。あれから2年。こ
の度の刊行により、再び
「神様の元氣」を取り次ぐ
石田先生の肉声に触れる

思いがした。
内容はルーテル教会に
ついて、知っているつもり
で知らないことばかりで
あつた。戦後ルーテル教会
再編の頃のこと、開拓期の
稔台教会はじめあちこち
で起こった「神の出来事」、
そして世界とその歴史と
共にあるルーテル教会の
姿など、折々の宣教の断面
が臨場感をもつてつづられ
ている。いずれも石田先生

ご自身を身投じて関わ
られた宣教の現場であつ
た。それ故に「神学的自伝
である。しかしいわゆる回
顧録とは趣を異にしてい
る。本書の焦点は生ける神
の働き(恵み)に向けられ
しかもそれが世界とそこ
に生きる人々に介在する
という信仰の証言となっ
ている。それ故に未来への
励ましと提言に満ちてい
る。先生のご活躍と多方面
にわたる貢献もさること
ながら、本文から伝わる一
貫した調子は神の恵みへ
の絶対的な信頼と期待で
あり、出会った人々への温
かなまなざしであった。是
感謝!

思い返せば、初任地の松
山教会では夏休みの間、教
会の庭でラジオ体操を行
なつたこと、ルーテルズと
いう小学生野球チームを
作り子ども達と汗を流し
たこと、進行性側索硬化症
という難病患者の全国組
織を結成したこと、また室
園教会ではタイの女性を
一年間牧師館で預かつた



谷川卓三

42年間
の牧師職
の定年を
迎えるに
あたり、これまで担任せら
れた、掛川・菊川・清水、神
戸東、高蔵寺、拳母・元町、
大江・宇土、三原・福山の
7つの諸教会群の天使た
ちに書き送ろう。

①教会は聖徒の交わり
である。聖徒の交わりとし
ての教会は主の教会とし
て永遠に続く。その教会は
主が守り導く聖徒の交わ
りである。②霊的な義務を
自覚してこそ力強いキリ
スト者となる。献身献財は
その意識化を促すために
重要である。③私は洗礼
を受けた者との誇りを持
ち、主と共に、主と一つと
なつて、主に委ねて雄々し
く歩め。④礼拝はキリスト
者にとつて地上の天国で
ある。その力によってキリ
スト者の日々の生活は確
かなものとされる。⑤牧師
はそのために奉仕する者
である。教会共同体に仕え
た歴代牧師たちの連綿と
継続された主の業を信徒
共同体として大切にす
ること。⑥牧師の不足がある
今、牧師の教会から信徒共
同体としての教会へと意
識変革の良き時が到来し
ている。聖徒の交わりとし
て共に喜び泣く者たれ。⑦
一致の主と共に、世界の民
の一致のために存在する
教会たれ。民族も宗教も人
種も貧富も相性も異なる
者が、争いではなく一致す
るために教会とキリスト
者は霊において一つと
なつてひたすら尽くせ。

あつという間の4年間

J3 退任・着任挨拶
ブレント・ウィルキンソン